

保護管理を担う人材の育成

【目的・概要】

ヒグマの出没が多発している市街地周辺における総合的ヒグマ対策に必要な危機管理体制の構築を推進するため、地域における総合的なヒグマの保護管理の担い手を育成するための研修会を実施する。

1. 保護管理人材を育成する必要性

- 危機管理体制の充実を図るためには「捕獲を担う人材」と「保護管理を担う人材」による体制の構築が必要
- 捕獲中心の対策だけではあつれきを軽減する効果は小さく、地域個体群の存続にも悪影響
- あつれきの軽減と地域個体群の存続を両立するため、次の対応をすべて担う保護管理人材の育成が必要
 - ① あつれき発生 ② 有害性の判断 ③ 問題個体の特定 ④ 問題個体の的確・迅速な捕獲 ⑤ 発生原因の把握・除去

2. 事業内容

目的	保護管理を担う人材としての市町村職員、振興局担当職員等の能力向上を図る。		
対象者	市町村職員、振興局担当職員、地域おこし協力隊 ほか		
内容	1 日目【座学】ヒグマの生態、出没要因の解析、危機管理体制のあり方、住民の安全対策 2 日目【実習】痕跡の確認方法、移動経路の遮断方法、的確な防除策		
開催概要	区分	内 容	
	開催数	6回：各地域個体群で1回 (道東・宗谷はエリアが広いため、 2箇所を実施)	
	時期	出没が多発している7～8月。 被害現場の状況把握及び実習に相当	
	開催地		
	渡島半島	後志管内島牧村(予定)	
	積丹・恵庭	石狩管内札幌市(予定)	
	天塩・増毛	上川管内旭川市(予定)	
道東・宗谷	根室管内羅臼町、網走市(予定)		
日高・夕張	十勝管内帯広市(予定)		
	備考		
	○ H27 H28開催の研修では「農業被害防止」に焦点を当てたのに対し、近年多発している「市街地侵入防止と対応」を課題とした研修とする。		
	○ 開催地は、H30に市街地侵入の様々な課題を抱える市町村から選定。		